

**福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
令和4年度第5回総会議事録**

令和5年3月30日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
令和4年度第5回総会議事録

日 時：令和5年3月30日（木）10：30～
場 所：ふくしま中町会館6階北会議室

議事の経過及び内容

午前10時30分、JA福島中央会岩本食農振興部長（以下事務局長）の司会により、以下の順序に従って総会が進められた。

1. あいさつ

今泉仁寿会長（JA福島中央会 常務理事）

2. 議長選出

事務局長から、慣例により今泉会長が議長を務めることを提案。議場に諮り、議場の承認を得て会長が議長の就任あいさつをし、議事に入った。

3. 議事録署名人及び書記の選任

議長から議事録署名人および書記の選任について議場に諮ったところ、議長一任に異議無しの意見があり、議事録署名人には福島県担い手育成総合支援協議会・福島県耕作放棄地対策協議会菊地会長、公益財団法人福島県農業振興公社渡部事務局長、書記に福島県農林水産部水田畑作課東間主事を選任した。

4. 定足数確認

議長から本総会の定足数について報告を求められ、事務局長より会員団体数11団体のところ、代理出席および委任状を含め全会員出席により、総会の定足数に達していることを報告した。

5. 報告事項

「報告第1号 水田農業をめぐる情勢」および「報告第2号 「畑作物産地形成促進事業」及び「コメ新市場開拓等促進事業」の取り組み状況について」について、議長から事務局に報告を求めた。

報告事項説明

報告第1号、報告第2号を岩本事務局長より説明。関連して議長よ

り東北農政局福島県拠点に補足説明を求めたところ、高橋総括農政業務管理官より「福島県においては、令和3、4年の2年間で7,300haもの主食用米からの作付転換をすすめていただき、感謝申し上げます。行動制限の緩和により業務用の需要が回復傾向にある一方、家庭用の需要は厳しい状況にある。国として、需要に応じた生産を推進するための情報提供を行っており、これからの作付の判断材料として頂くよう、1月末時点の水田における作付動向を3月に公表したところである。また、5月以降に4月末時点の作付動向を公表予定である。引き続き5年産の需要に応じた生産・販売の推進をお願いする。」との発言があった。議長より議場に更に意見・質問を求めたが、特になく議事に移った。

6. 議 題

議長より「議案第1号 令和4年度予算の補正（案）」「議案第2号 令和5年度事業計画及び収支予算（案）」「議案第3号 令和5年度負担金の賦課及び徴収方法（案）」「議案第4号 事務経費に係る費用の負担に関する協定書（案）」「議案第5号 事務手続き等に関する付帯決議（案）」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 岩本事務局長

議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かったため、挙手による採決を求めたところ全員賛成のため「議案第1号」「議案第2号」「議案第3号」「議案第4号」「議案第5号」は可決承認された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長および議事録署名人がここに署名し、押印する。

令和5年3月31日

議長

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 会長

今泉 仁新 

議事録署名人

福島県担い手育成総合支援協議会 会長

福島県耕作放棄地対策協議会 会長

菊地 裕 

議事録署名人

公益財団法人福島県農業振興公社 事務局長

渡部 幸英 